令和７年度　江戸川区立小松川第二小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	からだも心も健康な子ども ○よく考え工夫する子 ○思いやりのある子 ○力を合わせやりとげる子		目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○みんなの笑顔があふれる学校 ○探究欲、交流欲、挑戦欲のある児童 ○児童と共に常に学び続け変わり続けることのできる柔軟な教師
前年度までの本校の現状	成果	1　児童の運動意欲調査の肯定的意見が目標を上回った（目標80%　結果90%）。 2　児童の学校生活満足度調査の肯定的意見が目標を上回った（目標80%　結果91%）。 3　保護者に対する授業公開、教育活動情報発信の肯定的意見が目標を上回った（目標80%　結果86%）。 4　小中連携により進学に関心あると回答する第６学年児童の割合が目標を上回った（目標80%　結果81%）。	課題	1　授業改善、補修指導の充実 東京ベーシック・ドリル（３年、６年算数）の平均正答率60%、全国学力・学習状況調査Ｃ層、Ｄ層の児童割合が50% 2　不登校児童　令和６年度末報告児童数31人（児童数に対する割合５%） 3　いじめ認知件数　令和６年度末報告数89件

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	○授業力の向上	・校内研究及びOJT研修の充実 ・相互授業参観の実施 ・他校授業実践の参観 ・ICT機器及び対話を取り入れた授業実践の日常化	・年４回の研究授業の実施 ・全教員が学期１回の相互授業観察 ・全教員が年１回以上校外の授業参観 ・全教員が毎日１回はICT機器活用、対話を取り入れた授業実践											
	○学習習慣の定着	・家庭学習の取組の充実 ・放課後学習教室の強化	・保護者肯定的評価90%以上 ・放課後学習教室参加児童全員、自身の学力向上肯定100% ・学習意欲向上児童90%以上											
	○読書科の更なる充実	・読書科における探究的な学習の充実	・高学年児童の探究的な学習コンクール参加100% ・前年度より読書量が増加した児童100%											
体力の向上	○体力の向上	・年３回なわとび週間実施 ・体育科授業の質の向上 ・運動習慣向上	・短縄の習得技、回数等前年度比より増 ・体力調査で全学年、全種目全国平均より上 ・週5日、30分以上運動する児童90%											
	○健康教育の充実	・全学年養護教諭による健康教育の実施 ・学校保健委員会等での保護者に向けた啓発	・年２回の健康指導を全学級で実施 ・３・４年歯科指導による未処置歯のある児童80%減 ・保護者の健康教育へ肯定的評価90%以上											
	○食育指導の充実	・栄養士による食の重要性や安全性の指導実施 ・給食試食会等での保護者に向けた啓発	・年1回以上全学級で食育指導の実施 ・保護者の食育へ肯定的評価90%以上											
共生社会の実現に向けた教育の推進	○特別支援教育の充実	・校内委員会及び校内研修の定期的な実施 ・SCやSSW等との連携強化	・特別な支援を必要とする児童への対応100% ・SCやＳＳＷとの連携により、児童の行動改善が80%以上											
	○エンカレッジルームの活用促進	・児童及び保護者の本事業に対する理解促進 ・教員とエンカレッジサポーターとの連携強化	・利用児童、保護者の肯定的評価90%以上											
	○外国籍児童に対する理解促進及び積極的交流	・校長及び教職員による異文化理解の指導充実	・海外の人との交流に対し肯定的評価90%以上											
不登校・いじめ対応の充実	○不登校、登校渋り等への取組強化	・関係児童に関わる全教員が、登校渋りや不登校児童の状況を理解 ・月１回の不登校対策委員会の実施 ・L-gateの日常的活用	・新規不登校の発生をゼロ ・登校渋りを理由とする欠席児童前年度より10%減											
	○いじめの未然防止、早期発見、早期解決	・年３回のいじめアンケート及び対策委員会の実施 ・L-gateの日常的活用	・いじめ解消率90%以上 ・児童の学校生活満足度95%以上											
	○教員の対応力・連携力向上	・年1回外部有識者によるいじめ対応研修実施 ・生活指導夕会及び校内OJT研修で全校共通取組の理解	・自身の対応力、連携力についての自己評価、全教員年度当初時より向上											
地域社会に開かれた学校（園）の実現	○学校ホームページの定期的な更新	・適時の情報発信により、保護者や地域等関係者への情報提供充実	・毎日の更新 ・各学年や行事の取組事後１週間以内配信											
	○学校関係者評価の充実	・学校評議委員会での双方向の意見交換の実施	・年３回学校評議委員会において、全項目前年度比評価維持、向上											
特色ある教育の展開	○異学年交流活動の拡大、充実	・月１回の異学年交流活動及び行事や集会等での異学年交流の場拡大、充実	・児童による自治的活動の肯定的児童90%以上 ・他者との交流に意欲的な児童95%以上 ・他学年に友達がいる児童95%以上											
	○キャリア教育の充実	・全学年キャリア教育の視点を生かした学級・学年経営を充実 ・専科教員によるキャリア教育の視点を生かした授業及び教室環境の充実	・「キャリア・パスポート」を生かしたキャリア教育の実施100% ・担当教科に合ったキャリア教育の実践100%											
	○外部機関との連携強化、外部人材活用の充実	・保護者や地域の大学、企業、連携中学校等外部機関との連携強化、及び人材の積極的な活用	・全学年、年1回以上、外部機関との交流を実施											